

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年6月21日

八戸市市長 小林 眞 殿



提出者

住 所 青森県八戸市大字金浜字中渡 8-1

氏 名 株式会社オリエントファーム

代表取締役 高野英夫

電話番号 0178-38-2311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社オリエントファーム
事業場の所在地	青森県八戸市大字金浜字中渡 8-1
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	採卵養鶏業
② 事業の規模	飼養羽数 75 万羽 年間鶏卵生産量 12,500 t
③ 従業員数	40 名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	発生→運搬→発酵処理（堆肥化）→製品出荷

(日本工業規格A列4番)

(日本工業規格A列4番 (第2面))

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



統括責任者 高野英夫

- 役割 廃棄物処理方針の策定 廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認
 監督官庁への各種報告 廃棄物処理計画の作成
 廃棄物管理状況の把握・改善策の検討 社員・関連会社の教育・啓発
 廃棄物処理場の運転・維持管理状況の把握

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (3年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿	
	排出量	13,700t	
	(これまでに実施した取組) 堆肥化処理による製品化		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿	
	排出量	15,000t	
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化処理による製品化 飼料添加物 (酵素、乳酸菌等) により発生量を抑える。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	3,150t	
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	3,500t	
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	10,550t	
(これまでに実施した取組) 堆肥化処理による製品化			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	11,500t	
(今後実施する予定の取組) 堆肥化による製品化			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			